

特定特殊自動車排出ガス2014年基準適合。環境負荷への低減を実現

[車検取得が可能]

コモンレール式燃料噴射システムによる最適燃焼の新型クリーンエンジンと新排出ガス浄化システムを搭載。クリーンな排出ガスにより、環境負荷の低減を達成いたしました。

特定特殊自動車排出ガス2014年基準に適合し、ハイレベルの環境性能と高いパフォーマンスの両立を実現しています。



新型クリーンエンジンを搭載

過酷な重作業に十分に耐えうるパワーと耐久性を兼ね備えた地球に優しい新型クリーンエンジンを採用。

エンジンのパワーを最大限に引き出す車体とのベストマッチングで、今までと変わらぬ作業性をお約束いたします。また、エンジンオイル交換インターバルの延長も実現しています。



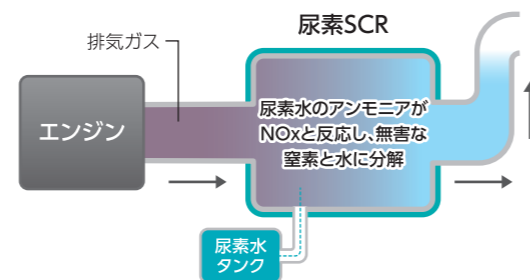
TAD 571VE (FD120-160S)	TAD 870VE (FD150-230)
定格出力 129kW / 2300rpm	定格出力 160kW / 2200rpm
最大トルク 810N・m / 1200rpm	最大トルク 1060N・m / 1200rpm

新排出ガス浄化システム

NOx低減率80%の厳しい規制値をクリア

特定特殊自動車2014年基準における旧規制値との比較です。

尿素水触媒による化学反応(還元)で排出ガスに含まれるNOx(窒素酸化物)を大幅に低減する尿素SCRシステムを搭載。ハイパワーとクリーンな排出ガスを両立しました。



尿素水について

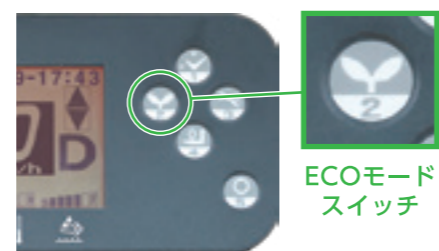
燃料と同様に補給が必要となります。残量はメーターパネル内の残量計で確認が可能です。

- 尿素水は無色透明の液体で引火の危険性はありません。
- 消費量は1時間あたりの燃料消費に対して約5%です。(当社評価パターン)

ECOモード選択機能を標準装備

ECOモードは、実用レベルの動力性能を保ちながらも、さらなる低燃費を実現。全機種標準装備で、燃料消費量を標準モードより約10%低減します。

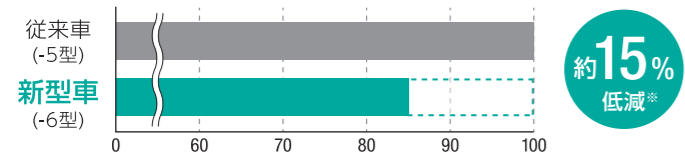
(当社評価パターンによる比較)



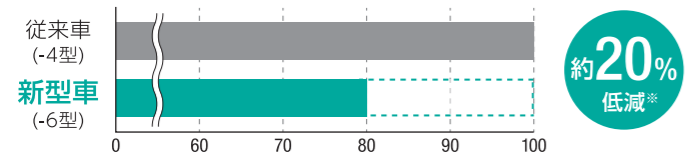
低燃費を実現

温度感応型冷却ファンや可変容量油圧ポンプの新採用などにより、標準モードでの燃費の大幅改善を実現しました。ランニングコストの低減に貢献します。

FD160S 燃費比較



FD230 燃費比較



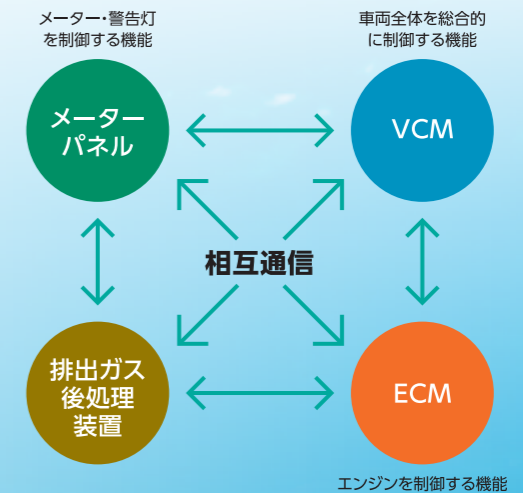
※当社評価パターンによる比較

優れた低燃費と環境性・安全性を実現する協調車両制御システムを搭載

優れた低燃費と環境性・安全性を担う協調車両制御システムを全機種搭載。VCM*1、ECM*2、メーターパネルおよび排出ガス後処理装置の相互連携による車両最適制御の各種機能が充実しています。

- 最適なエンジン制御で低燃費/低騒音を実現
- 荷役・走行時の事故防止をサポートする走行・荷役インターロック機構
- オペレーターに安全を喚起するインジケーター各種警告灯
- バッテリー車並の故障診断警告表示
- 高い環境性を実現する排出ガス最適処理

*1 Vehicle Control Module
*2 Engine Control Module



※写真の車両はFD160Sオプション装着車です。